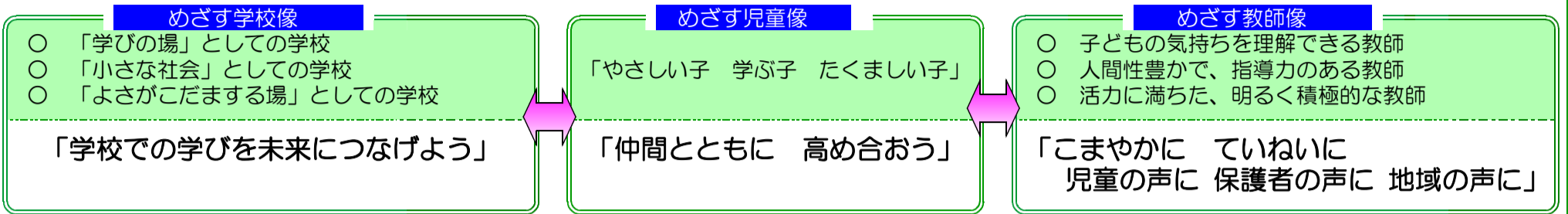


八俣小グランドデザイン 2021

本県教育の目標	学校教育目標	古河市学校教育の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう ○ じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う ○ 郷土を愛し 協しあう心を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> 心豊かに 自ら学び たくましい やまたの子 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の個性や能力を伸ばし 確かな学びをはぐくむ ○ 健やかな体をつくり たくましい心を養う ○ 郷土古河を愛し 豊かな心をつちかう



組織目標
「一人一人が、自他のよさに気づき、活かし、共に高め合うことができる場を設定する」

令和3年度の目指す数値目標	
【徳】	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほめ言葉のシャワー 100% ○ 読書50冊読破 90%以上 ○ 道徳の授業公開 100%
【知】	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジテスト合格賞 1・2年生 90%以上 3・4年生 85%以上 5・6年生 80%以上 ○ 家庭学習の時間（10分×学年数+10分）の達成 100% 1年：20分以上 2年：30分以上 3年：40分以上 4年：50分以上 5年：60分以上 6年：70分以上 ○ 県学力診断のためのテスト 正答率を前年度より1問分上げる
【体】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯のない児童 85%以上（継続）または治療率80% ○ 体カテスト 前年度より1ランク上げる ○ 体カテスト総合評価（A+B）-（D+E） 25%以上

重点目標



【豊かな心の育成（徳）】

- 児童一人一人の自己肯定感を高め、よさが響き合い、共に高め合う学級づくりを推進する。
- あいさつ・返事を中心とした基本的な生活習慣の定着を図る。
- 道徳教育の充実を図り、いじめをしない、心豊かな児童の育成を図る。
- 家庭・地域と連携し、体験的な活動を推進していくことで、感謝の気持ちや郷土愛を育む。
- 保護者と連携し、読書50冊読破を目指した家読20分間の定着を図る。
- 特別支援教育推進のための校内研修の充実と校内支援体制の構築を図る。



【確かな学力の定着（知）】

- めあてと目標達成の児童の姿を明確にした、分かる授業を実践する。
- 学習場面に応じて、積極的にICTを活用し、個別最適化された学習を推進する。
- 温かな学級経営を基盤とし、主体的に学び合う授業づくりを推進する。
- 記録、要約、説明、論述等を学習活動に取り入れ、自分の考えや根拠を表現する力の向上を図る。
- 授業の振り返りを自分の言葉や文にまとめさせることにより、主体的な学びを推進する。
- 学習の約束の定着と家庭学習の習慣化（学年×10分+10分以上）により、基礎的な知識・技能の習得を図る。
- 各種研修、相互授業参観等により、教師の指導力の向上を図る。
- 板書や教材等の工夫により、ユニバーサルデザインの良さを取り入れた授業づくりを推進する。



【健康・安全、体力の向上（体）】

- 運動量を確保し、体力・技能向上を目指す体育学習の充実を図る。
- 目標を明確にし、体力づくりと運動の習慣化を図る。
- 目標達成に向けて、最後までがんばり続けることができる児童の育成を図る。
- 避難訓練の充実や環境整備等による事故の未然防止、安全・安心な学校づくりを推進する。
- 自他の命を大切にするための、危険予測・回避能力の向上を図る。
- 清掃活動を中心としたきれいな環境づくりを推進する。
- 家庭との連携により、「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、気力・体力の向上を図る。
- 健康診断の結果に基づく治療勧告を確実にし、児童の健康管理・維持を図る。

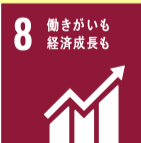


働き方改革の推進

- 定時退勤日の設定
- 学校サポーターの活用
- 時間割の工夫
- 学校行事の等の精選
- 地域人材（ボランティア）の活用
- 先進校での取組の積極的な導入

時間外在校時間 「月間45時間以内」 「年間360時間以内」

- ☆ 人間性や創造力を高め、児童と向き合う時間を確保するために
- ☆ 効果的な教育活動の実践のために



特色ある教育活動

- 学校・家庭・地域が一体となって行う「八俣小まつり」
 - ・ 親子風船とばし（花の種とメッセージ）
- 心の教育の推進
 - ・ 5年総合的な学習の時間「広げよう 福祉の輪」
 - ・ 特別養護老人ホーム「みどりの里」訪問
 - ・ あいさつ運動とボランティア活動化
- 地域・PTAとの連携による伝統文化・自然・スポーツ体験
 - ・ 6年総合的な学習の時間「日本文化体験」
 - ・ 「ふきの芽会」との連携



ESDの推進と学校を核とした地域連携

- 学校ホームページや学校だよりを通し、学校の状況を積極的に家庭や地域に公開し、理解と連携強化を図る。
- 地域の人材や各種教育資源の積極的な活用や相互交流を推進する。
- 学校関係者評価委員会をはじめ、地域関係団体との交流を通して連携を図る。
- 学校評価アンケートや方法を工夫し、保護者・地域の考えや情報を得て学校改善に生かす。
- 緊急情報メール配信システムを活用し、職員や保護者に迅速な情報を配信し、安全確保を図る。

